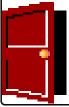
《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開くり

桑村小学校令和4年4月14日 文責 渡邊

4月12日に、桑村小学校の子供たちは、とてもよく読書活動に取り組んでいると本校の図書館司書の小谷先生から伺いました。昨年読んだ冊数が町内の小学校でいちばん多かったということです。

函南町では、「函南スタンダード」を設定し、小学校では、 ①「進んであいさつをする」、②「決まりや時間を守る」、③「人の話を集中してきく」、④「運動やスポーツ、外遊びにはげむ」、 ⑤「読書に親しむ」の達成に向けて取り組んでいます。

この「函南スタンダード」は、幼児教育や中学校教育においてもそれぞれの発達段階に合わせて設定されています。⑤の「読書活動」においては、幼児、児童、生徒に対して、「読書」の取組が推奨されているのです。



昨年度、函南町では、GIGAスクール構想に向けて、児童・生徒に対してタブレット端末が用意され、一人一台授業で活用できる環境となりました。情報化社会に向けて、ICT教育が充実してきたのです。

さて、学校生活とともに家庭生活においても様々な情報機器が入ってきています。テレビ(DVD)やゲーム、そしてスマホ等は、子供たちにとってとても魅力的なメディア機器として、生活の中に入り込んでいるのです。

脳科学者の川島隆太氏の監修した著書の中に、次のような文章がありました。

「警戒するべきは子供たちがメディア機器に支配されてしまうことです。

近年の研究でメディア機器にはタバコや薬物と同じように人間を支配する「依存症」 があることが分かってきています。(中略)

最初は軽い息抜きの気持ちで始めたゲームやスマホでも、一度「依存症」に陥ってしまうと自分の力だけではなかなかやめられなくなってしまうのです。そのような泥沼にはまらないためにも、子供たちは強い心をもって自分を律する「自己管理能力」を身に付ける必要があるでしょう」(『最新脳科学でついに出た結論「本の読み方」で学力は決まる』川島隆太監修、松崎泰、榊浩平著 青春出版社 2018年)より

様々な情報機器が生活に入り込んでいる状況の中、読書活動を進んで行うには、子供の「自己管理能力」の育成とともに、家庭の協力が大きな鍵となります。

さて、ここでお尋ねします。皆さんのお宅では「読み聞かせ」を行っていますか?「読み聞かせ」は、子供たちの成長にとって大きな役割を担っていると先の著書は述べています。

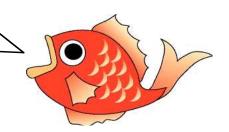
「読み聞かせをすると、子供たちの脳は単に声を聞く反応を示すだけでなくて、感情や情動の脳が働く。読み聞かせをしている大人の脳は、単に本を読む反応を示すだけではなく、コミュニケーションの脳が働く。読み聞かせは親子の極めて良質なコミュニケーションとなり、子供たちの心が安定し、親への信頼と愛着が増し、その結果、親の子育てストレスがぐっと軽くなる。」(『最新脳科学でついに出た結論「本の読み方」で学力は決まる』川島隆太監修、松崎泰、榊浩平著 青春出版社 2018年)より

今回、「自己管理能力」の大切さと「読み聞かせ」の効果について、著書をもとに記述しました。

「読み聞かせ」については、学校教育においても、保護者や地域の皆様方のご理解、ご協力のもと、実施しています。子供たちは、「読み聞かせ」を通して、物語の世界へと旅していることと思います。

子供たちが図書に接し、読書に取り組むことは、幼児期や児童期の子供たちにとってとても大切なことであると思います。今年度は、是非、学校と家庭、地域社会と連携し、読書活動の楽しさと大切さを理解し、推進していきたいと考えます。

読書って楽しいな! たくさんの本を読みたい



桑村小学校は、素晴らしい学習環境にあります。自然が豊かで、様々な体験活動ができるからです。子供たちは、その体験活動を通し、五感が育てられます。それをそこで終わりにしてしまうのはもったいないと思います。五感が鍛えられた子供たちは、読書を行うことで、そこでもたくさんの経験を楽しむのではないでしょうか。自分の経験を読書の世界へとつなげ、たくさんの「想像」と「創造」を育成していくのです。子供の有する可能性は無限です。それをたくさん引き出してあげたいと考えます。

最後に、お願いです。この「読書活動への扉を開く」は、学校便りとは異なり、保護者の皆様方と双方向的なやり取りができればと思います。そこで、感じたことを自由に記述し、お子さんを通して校長までお知らせください。

お忙しい保護者の皆様方ですので、できる範囲で協力いただけたら嬉しいです。併せて、 紙面にて紹介させていただくことがあるかもしれません。よろしくお願いします。

切り取り線

「読書活動の扉を開く」(4月号)を読んでの感想	
()年()